

# 40周年記念大会、開催される!

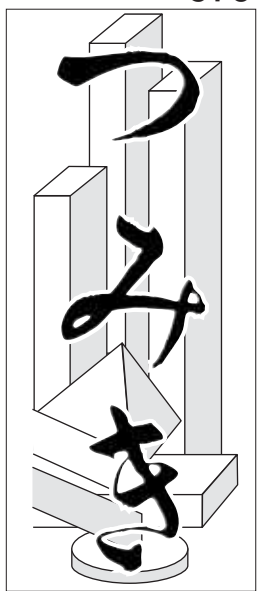


社団法人因島青年会議所は2008年に創立40周年という節目を迎えました。1967年、40数名の因島青年有志が集い、尾道青年会議所のスポンサーのもとに因島青年会議所を立ち上げ、1968年6月22日、日本青年会議所の承認を経て全国で375番目の青年会議所として誕生しました。2008年5月18日(日)因島市民会館、芸予文化情報センターにおいて創立40周年を記念して式典、祝宴を開催しました。大会当日は、ご来賓の皆様をはじめ、県内外のJCIの仲間達、諸先輩の方々、多くのご参加をいただきましたことに感謝いたします。



式典は福山市で活躍されている書家の中村文美先生をお招きし、地元の因島水軍太鼓との共演による「天人」大字揮毫でオープニングを飾りました。そして、この5年間の因島青年会議所の運動・活動を振り返り、第36代から第40代までの歴代理事長表彰を行いました。その後の祝宴では、この40年を節目にさらなる躍動を誓い、未来のいんのしまを語り合うひとときをもちました。

(社)因島青年会議所はこれからも地域の皆様と共に明るい豊かな社会の実現に向けて邁進してまいります。



題字 初代理事長 弓場敏男



## 平成20年6月1日 相わんぱく撲

平成20年6月1日に『第3回相わんぱく撲因島場所』を熊原八幡神社相撲場で開催しました。当日は34名の小学生の参加と成りました。4:5:6年生の優勝者は8月3日に開催された全国大会に出場し、国技館の大舞台で地域の代表として試合を繰り広げてくださいました。



- 各学年の横綱は次のみなさん。かつこ内は学校名。
- 一年 森本勘介君(瀬戸田)
- 二年 田頭育也君(三庄)
- 三年 村上光起君(因北)
- 四年 松浦祥歩君(因北)
- 五年 星野旭克君(重井)
- 六年 佐伯伊織君(土生)



2008年12月。創立40周年記念事業として因島アメニティ公園内に4本のしだれ桜の植樹を行い、メンバーで階段作りやロープ柵の設置などの周辺整備をいたしました。この桜が花を咲かせ、美しく育っていくように、私たちの住むこの地域も美しいふるさとのままに発展していってほしいと願いを込めました。

## 40周年記念植樹

## 新OB会長挨拶



林 克 弘

新年明けましておめでとうございます。ご家族お揃いで新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

皆さま方はすでにご存じのように(社)因島青年会議所(以後JCI)は40才で卒業します。OB会は、この卒業で構成されています。OB会として、OB会は具体的な事業などをする団体ではありませんが、JCIの活動を支援することにより、間接的に地域社会の発展に貢献しているつもりです。只、これからの因島がどの様な方向に向かっていくかはOB会としても真剣に検討しなければいけない課題だと思っています。少子高齢化が進む中、因島も高齢者率が高くなっていきます。高齢者の方々が快適に、安全、安心して暮らせる環境の整備、人口減に対する対策等、地域社会に貢献できる事業があればOB会としても検討をして協力しなければならぬのではないかと考えています。

現在、団塊の世代の退職された方が増加しています。これらの方の中には都会で働いていて退職後何処か住むのに良いところを探しておられる方がおられます。又、因島で育ち島外で働いていた方が退職し島に帰りたいたいと思ったり、帰りたい島にすることが大切ではないかと思ったり、因島は風光明媚、気候は温暖で日本が一番住みやすいところだと思ったり、他人が住みやすいところにするためには、相手に対する思いやり、相手に対する親切心、やさしさではないかと思ったり、旅行先で親切にされた思い出、乗り物で席を譲ってくれたこと、お金をかけて色々なことをするよりも心の持ち方一つで簡単に誰にでも出来ることがあるのではないかと、因島も今年も経済情勢が悪化するのではないかと、そうなる人間関係も殺伐とした世の中になりがちです。この様なときこそ島民の方がこの二点に気をつけて住みやすい島にして多くの方に島に来ていただき人口を増やして島の活性化を図りたいものです。JCIのOB会もこの二点を基本として活動したいと思っています。最後にOB会並びにJCIに対してこれからも今まで同様、地域の皆様のご指導、ご鞭撻をお願いいたします。皆さま方の今年のご多幸を祈念して簡単にさせていただきます。